



平成30年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)



平成30年7月31日

上場会社名 サイオス株式会社 上場取引所 東
 コード番号 3744 URL <https://www.sios.com/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 喜多 伸夫
 問合せ先責任者 (役職名) 常務執行役員 (氏名) 小林 徳太郎 (TEL) 03-6401-5111
 四半期報告書提出予定日 平成30年8月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家、アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年12月期第2四半期の連結業績(平成30年1月1日~平成30年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年12月期第2四半期	6,270	0.7	127	△26.5	131	△28.5	79	△12.0
29年12月期第2四半期	6,226	△0.2	173	△47.5	184	△37.0	89	1.1

(注) 包括利益 30年12月期第2四半期 58百万円(△9.5%) 29年12月期第2四半期 65百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年12月期第2四半期	9.17	9.11
29年12月期第2四半期	10.43	10.39

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年12月期第2四半期	5,049	1,147	22.0
29年12月期	4,849	1,076	21.5

(参考) 自己資本 30年12月期第2四半期 1,110百万円 29年12月期 1,043百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00
30年12月期	—	0.00	—	—	—
30年12月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年12月期の連結業績予想(平成30年1月1日~平成30年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	13,000	4.2	330	2.8	330	1.1	260	—	30.13

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	30年12月期2Q	8,874,400株	29年12月期	8,874,400株
② 期末自己株式数	30年12月期2Q	232,868株	29年12月期	246,541株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	30年12月期2Q	8,630,042株	29年12月期2Q	8,624,159株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P3「(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

〈当第2四半期連結累計期間の概況〉

当社グループは、IT産業における急速な市場環境の変化をリードし、中期経営戦略で掲げた更なる成長の実現に向け、「Fintech(*1)を含む新たな領域での新規事業創出」「継続的な研究開発投資」「コアビジネスの競争力強化」に取り組んでいます。

当第2四半期連結累計期間におきましては、「Fintechを含む新たな領域での新規事業創出」として東京大学発のベンチャー企業である株式会社Rhelixaと資本業務提携し、エピゲノム(*2)のクラウド(*3)解析プラットフォームの共同開発・構築の取り組みを開始し、バイオサイエンス領域に進出しています。

また、「継続的な研究開発投資」としてSIOS Technology Corp.がサウスカロライナ大学にR&Dセンターを開設し、先進AIの技術開発及び人材確保への取り組みを強化しています。

さらに、「コアビジネスの競争力強化」として、クラウドにおける監視・自動復旧サービスである「SIOS Coati」の最新アーキテクチャーを用いた再構成を進めている他、MFP向けソフトウェア(*4)における新製品投入などの取り組みを行っています。

このような取り組みの中、各セグメントの業績は次の通りの結果になりました。

①オープンシステム基盤事業

Red Hat Enterprise Linux(*5)をはじめとするRed Hat, Inc. 関連商品は順調な増収、OSS(*6)サポートサービス・OSS関連商品は堅調な増収となりましたが、商品販売の粗利率は前年に引き続き低下基調となりました。また、「LifeKeeper(*7)」は、大型案件の受注が減少した影響により、減収減益となりました。

これらにより、売上高は3,543百万円(前年同期比3.5%増)、セグメント利益は20百万円(同81.2%減)となりました。

②アプリケーション事業

地方銀行等を主要顧客とする金融機関向け経営支援システムの販売は大幅な増収となりました。一方、金融機関向けのシステム開発・構築支援は減収となりました。また、MFP向けソフトウェア製品は大型案件の受注が前年を割り込んだ影響により減収となりました。

これらにより、売上高は2,727百万円(前年同期比2.7%減)となりました。セグメント利益は上述の影響に加え、新規事業関連費用が増加したものの、前期に計上していたProfit Cube株式会社ののれん及び顧客関連資産の償却費50百万円がなくなり、107百万円(同63.1%増)と増益となりました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は6,270百万円(前年同期比0.7%増)と増収となりました。利益面では、営業利益は127百万円(同26.5%減)、経常利益は131百万円(同28.5%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は79百万円(同12.0%減)となりました。また、当社グループの重視する経営指標であるEBITDA(営業利益+減価償却費+のれん償却額)は、166百万円(同36.2%減)となりました。

(*1)Fintech(フィンテック)

Finance(金融)とTechnology(技術)を組み合わせた造語で、IT技術を利用した金融サービス。

(*2)エピゲノム

生まれた時に決まっている遺伝的情報であるゲノムに対して、時間・環境依存的な後天的な分子レベルの影響をエピゲノムという。

(*3)クラウド

コンピュータ処理をインターネット経由で利用できるサービス。

(*4)MFP向けソフトウェア

プリンタ、スキャナー、コピー、FAX等複数の機能を搭載した機器をMFP(Multifunction Peripheralの略)という。MFP上で利用できる文書管理ソフトウェア「Quickスキャン」「Speedoc」等。

(*5)Red Hat Enterprise Linux

オープンソースソフトウェア&サービス・プロバイダーRed Hat, Incが開発するLinux OS。

(*6)OSS

オープンソースソフトウェアの略。ソフトウェアの設計図にあたるソースコードを無償で公開し、使用・改

良・再配布ができるソフトウェア。

(*7)LifeKeeper

本番稼働のサーバーとは別に同じ環境の予備サーバーを待機させ、万が一の障害の場合には自動的に予備サーバーに業務を引き継がせる役割を担うソフトウェア。

(2) 財政状態に関する説明

①資産

流動資産は、仕掛品の増加66百万円、現金及び預金の増加62百万円等の要因により、4,275百万円（前連結会計年度末比3.2%増）となりました。

固定資産は、建物の増加28百万円等の要因により、774百万円（同9.4%増）となりました。

この結果、総資産は、5,049百万円（同4.1%増）となりました。

②負債

流動負債は、前受金の増加288百万円、買掛金の増加96百万円等の要因により、3,026百万円（前連結会計年度末比6.9%増）となりました。

固定負債は、長期借入金の減少66百万円等の要因により、875百万円（同6.9%減）となりました。

この結果、負債合計は、3,902百万円（同3.4%増）となりました。

③純資産

純資産合計は、当四半期において親会社株主に帰属する四半期純利益79百万円を計上したこと等の要因により、1,147百万円（前連結会計年度末比6.5%増）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年12月期の連結業績予想につきましては、平成30年2月5日公表の業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,379,099	2,441,852
受取手形及び売掛金	1,377,939	1,376,993
仕掛品	27,873	94,717
前渡金	139,488	162,255
その他	217,477	199,491
貸倒引当金	△200	△200
流動資産合計	4,141,679	4,275,111
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	95,944	124,502
その他(純額)	73,551	95,023
有形固定資産合計	169,496	219,525
無形固定資産		
のれん	995	-
その他	60,325	70,517
無形固定資産合計	61,321	70,517
投資その他の資産		
投資有価証券	192,970	196,716
退職給付に係る資産	35,988	37,200
差入保証金	220,663	220,976
その他	36,896	34,194
貸倒引当金	△9,820	△5,071
投資その他の資産合計	476,698	484,015
固定資産合計	707,515	774,058
資産合計	4,849,194	5,049,169

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	494,376	591,093
短期借入金	50,000	-
1年内返済予定の長期借入金	133,116	133,116
リース債務	4,018	6,676
未払法人税等	104,721	27,992
前受金	1,521,761	1,809,986
賞与引当金	42,816	24,859
受注損失引当金	-	1,485
その他	481,967	431,778
流動負債合計	2,832,779	3,026,986
固定負債		
長期借入金	679,039	612,481
退職給付に係る負債	212,520	204,082
リース債務	11,248	18,742
長期預り金	11,632	11,632
その他	25,166	28,198
固定負債合計	939,607	875,136
負債合計	3,772,386	3,902,123
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,481,520	1,481,520
資本剰余金	468,241	471,249
利益剰余金	△654,232	△576,019
自己株式	△104,458	△98,683
株主資本合計	1,191,070	1,278,066
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	34,140	36,285
為替換算調整勘定	△181,724	△204,068
その他の包括利益累計額合計	△147,584	△167,783
新株予約権	33,321	36,762
純資産合計	1,076,808	1,147,046
負債純資産合計	4,849,194	5,049,169

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年1月1日 至平成30年6月30日)
売上高	6,226,673	6,270,760
売上原価	4,063,956	4,214,511
売上総利益	2,162,717	2,056,249
販売費及び一般管理費	1,989,202	1,928,630
営業利益	173,514	127,618
営業外収益		
受取利息	2,498	5,973
為替差益	-	9,365
デリバティブ評価益	9,905	-
貸倒引当金戻入額	-	4,748
業務受託料	1,200	1,200
その他	4,024	6,983
営業外収益合計	17,628	28,270
営業外費用		
支払利息	2,408	2,185
投資事業組合運用損	2,407	4,733
デリバティブ評価損	-	17,095
その他	1,969	0
営業外費用合計	6,785	24,014
経常利益	184,357	131,874
特別利益		
子会社清算益	-	8,350
新株予約権戻入益	1,448	-
特別利益合計	1,448	8,350
特別損失		
固定資産除却損	-	22
投資有価証券評価損	-	12,954
特別損失合計	-	12,976
税金等調整前四半期純利益	185,806	127,248
法人税、住民税及び事業税	88,701	28,787
法人税等調整額	7,131	19,301
法人税等合計	95,832	48,089
四半期純利益	89,973	79,159
親会社株主に帰属する四半期純利益	89,973	79,159

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年1月1日 至平成30年6月30日)
四半期純利益	89,973	79,159
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△3,468	2,145
為替換算調整勘定	△21,351	△22,344
その他の包括利益合計	△24,819	△20,198
四半期包括利益	65,153	58,960
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	65,153	58,960

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年1月1日 至平成30年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	185,806	127,248
減価償却費	44,560	37,669
のれん償却額	42,686	995
受取利息及び受取配当金	△2,900	△6,334
支払利息	2,408	2,185
投資事業組合運用損益(△は益)	2,407	4,733
持分法による投資損益(△は益)	-	△708
売上債権の増減額(△は増加)	△47,598	△959
たな卸資産の増減額(△は増加)	26,746	△66,843
仕入債務の増減額(△は減少)	43,627	96,716
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	19,235	△8,438
前受金の増減額(△は減少)	260,894	296,996
前渡金の増減額(△は増加)	△15,104	△22,767
未払消費税等の増減額(△は減少)	△6,659	△41,622
その他	△34,251	△64,403
小計	521,859	354,468
利息及び配当金の受取額	2,900	6,334
利息の支払額	△2,408	△2,185
法人税等の支払額	△52,627	△103,171
営業活動によるキャッシュ・フロー	469,722	255,446
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△130,000	△130,000
定期預金の払戻による収入	130,000	130,000
有形固定資産の取得による支出	△5,433	△35,496
無形固定資産の取得による支出	△6,180	△21,905
差入保証金の差入による支出	-	△3,710
差入保証金の回収による収入	435	5,112
投資有価証券の取得による支出	-	△15,000
その他	△328	9
投資活動によるキャッシュ・フロー	△11,506	△70,991
財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	△30	-
短期借入金の純増減額(△は減少)	△30,000	△50,000
長期借入金の返済による支出	△67,391	△66,558
その他	4,264	4,694
財務活動によるキャッシュ・フロー	△93,156	△111,863
現金及び現金同等物に係る換算差額	△44,126	△9,838
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	320,932	62,753
現金及び現金同等物の期首残高	1,793,658	2,249,099
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,114,590	2,311,852

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成29年1月1日 至 平成29年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結損益 計算書計上額 (注)
	オープンシステ ム基盤事業	アプリケー ション事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	3,424,696	2,801,917	6,226,613	60	6,226,673
セグメント間の内部売上高 又は振替高	32	—	32	△32	—
計	3,424,728	2,801,917	6,226,645	27	6,226,673
セグメント利益	107,643	65,811	173,454	60	173,514

(注) セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

(参考情報)

地域に関する情報

当社では、「四半期財務諸表に関する会計基準」で要求される開示に加え、財務諸表利用者に有用な情報を提供するため、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」等に基づく地域に関する情報(売上高)を開示しております。

売上高

前第2四半期連結累計期間(自 平成29年1月1日 至 平成29年6月30日)

(単位：千円)

日本	米州	欧州	その他の地域	計
5,859,516	246,952	57,004	63,200	6,226,673

(注) 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自 平成30年1月1日 至 平成30年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結損益 計算書計上額 (注)
	オープンシステ ム基盤事業	アプリケー ション事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	3,543,670	2,727,000	6,270,670	90	6,270,760
セグメント間の内部売上高 又は振替高	8,753	2,246	11,000	△11,000	—
計	3,552,423	2,729,247	6,281,671	△10,910	6,270,760
セグメント利益	20,193	107,335	127,528	90	127,618

(注) セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

(参考情報)

地域に関する情報

当社では、「四半期財務諸表に関する会計基準」で要求される開示に加え、財務諸表利用者に有用な情報を提供するため、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」等に基づく地域に関する情報(売上高)を開示しております。

売上高

当第2四半期連結累計期間(自 平成30年1月1日 至 平成30年6月30日)

(単位：千円)

日本	米州	欧州	その他の地域	計
5,886,587	282,531	59,285	42,356	6,270,760

(注) 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。